

## 資料館だより

## CONTENTS

- 1… TOPICS／平成25・26年度入館者／年度別入館者
- 2… 展示活動報告／お宝紹介
- 3… 資料館での雑感／平成26年11月～27年3月移管・寄贈資料
- 4… 開催案内／資料館業務日誌／平成27年度 資料館スタッフ紹介

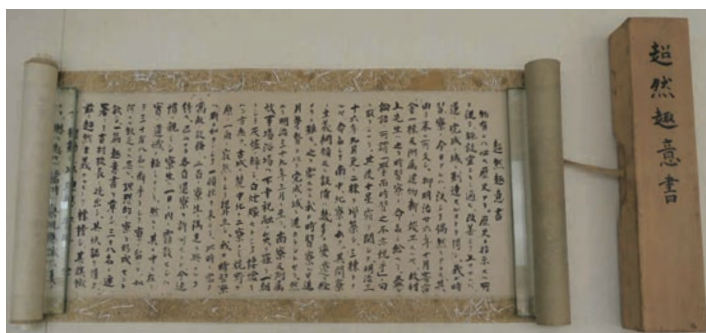
## TOPICS

## 四高同窓会から、同窓会所蔵資料約1,200点が寄贈される！

このたび、四高同窓会から、金沢大学資料館に寄託されていた四高同窓会所蔵資料及び石川四高記念文化交流館で展示されていた資料、約1,200点が一括寄贈されました(p3に関連記事)。

本資料館で保管していた資料群は、同文化交流館のリニューアル(平成19年8月)に際し、四高同窓会事務局が所蔵していた資料を金沢大学資料館が寄託を受け、リニューアル後も引き続き、「同窓会寄託品」として保管を依頼されていたものです。

同資料群の中には、超然趣意書(上写真)、時習寮看板、岡上梁書扇「超然」等々の貴重な資料が数多く含まれており、資料館では、この資料群の品名等を調査・確認しつつ目録作成を進めています。



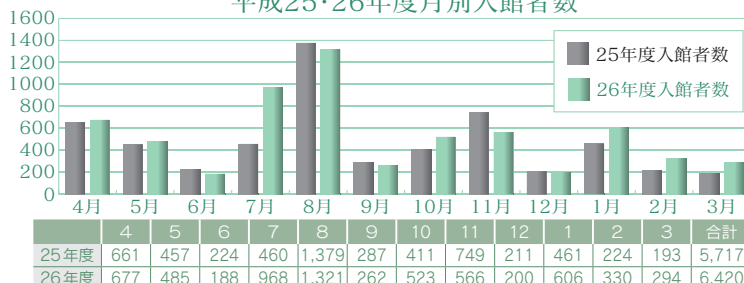
四高同窓会旧蔵資料「超然趣意書」(明治39年に卒業生一同により作成されたもの)

## 平成26年度の資料館展示室入館者数が6,000人を突破！

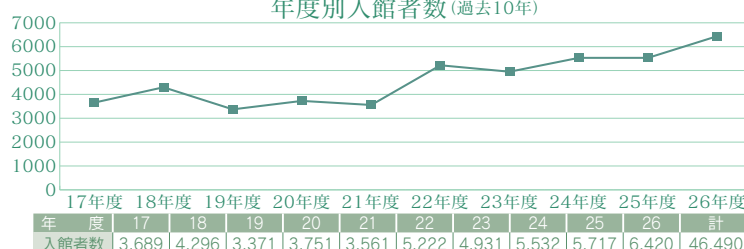
## —3年連続で入館者記録を更新—

平成26年度の資料館展示室入館者数が6,420人に達し、過去最高であった25年度の5,717人を突破しました。3年連続での記録更新となりました。これも、皆さんが資料館展示室に足を運んでいただいたおかげと深謝しております。今後とも、資料館展示室がより一層利用されることを目指して頑張りますのでご支援賜りますようよろしくお願いします。

平成25・26年度月別入館者数



年度別入館者数(過去10年)



## 展示活動報告

### 企画展

## 「学生が贈る，企画展示。植物図鑑」

会期 平成26年12月12日～平成27年2月6日 会場 金沢大学資料館展示室



植物図鑑チラシ

資料館では，初の試みとして，博物館実習を受講している学生たち自らが企画・立案した企画展を開催しました。学芸員資格取得に向けて今まで講義や館実習などで学修した成果を披露するため，企画立案，資料の選定，ポスターデザイン，展示室の什器移動など，展示作業のほとんどを学生たちが行いました。

“植物”をテーマとした同展では，資料館を植物図鑑に見立て，企画展に興味を持ってもらうための作品選び，より多くの作品を飽きずに鑑賞してもらうための鑑賞順序の工夫等，学生ならではの柔軟な発想で取り組みました。

本企画展では，本学が所蔵する教育掛図や美術品，きのこムラージュ，梅林正芳助手（金沢大学理工学域自然システム学類）によるボタニカルイラストレーションなど約50点を展示しました。



学生の解説を聴くミュージアム・ツアー参加者の皆さん



学生の解説を聴くシンガポールの大学生訪日団一行の皆さん

## シンガポールの大学生訪日団(JENESYS2.0)一行が来館

12月12日，シンガポールの大学生訪日団(JENESYS2.0)一行が来館し，企画展「学生が贈る，企画展示。植物図鑑」を見学しました。

学生が企画，立案した企画展ということに興味を持った見学者も多く，学生の解説に耳を傾けるとともに，質疑応答や意見交換などが行われ，熱心に観察していました。

## 大学コンソーシアム石川2014シティカレッジ後期科目「金沢の歴史と文化」受講生一行が来館

2月7日，大学コンソーシアム石川2014シティカレッジ受講生一行が来館し，本資料館職員からの解説講義を受けた後，資料館展示室を見学しました。

これは，同コンソーシアムの「シティカレッジ単位互換事業」において，金沢市の歴史文化資産を活用し，同市の歴史や文化を学ぶ授業として新規に開講されたもので，この授業の一コマとして実施されました。



資料館職員の解説を聴く受講生の皆さん

## お宝紹介

## 「北里柴三郎博士の講演を記録した手書きのノート」

当館の所蔵資料は，モノと文書(アーカイブ)資料とに分類することができる。当館で所蔵の文書資料は，前身校及び金沢大学の事務職員が業務のために作成したものが多く，こうした講演録が文書資料として保存されていることは珍しい。資料のサイズは縦20.4cm，横12.7cm，厚さ1.5cmで，糸綴じされた上製本ノート。表紙は黒でクロス張りされており，小口三方は蛍光ピンクに塗られ，見返し部分には若草色の紙が使用されている。横線が引かれたノートの最初の数ページのみ横書きで書かれており，残りはすべて縦書きである。講演録が書かれた年代や持ち主は不明だが，日付と講演者の名前と思われる表記が「12/5 北里博士講演[5月12日のこと]」といった具合に，所々に見ることができる。5月6日～6月13日の間に19回の講演があったようで，講演者名として北里博士と柴山学士の名前が交互に見られる。ノートに見られる講演内容が細菌学であるため，北里博士は，おそらく北里柴三郎氏(生没年:1853(嘉永5)年～1931(昭和6)年)のことで，柴山学士は北里氏に師事していた柴山五郎作氏(1871(明治4)年～1913(大正2)年)と思われる。北里氏は明治19年からドイツへ留学し，明治25年に帰国，柴山氏は明治31年以降に北里氏に師事していることから，このノートの筆記された年代は明治31年～大正元年頃と推定される。この間の本学の前身校は，第四高等学校医学部(明治27年～明治33年)，金沢医学専門学校(明治34年～大正12年)であり，いずれかの学校へ北里・柴山両氏が来学した際の細菌学についての講演録と思われる。内容は，病原菌に始まり，コレラ菌，チフス菌，赤痢菌など28種の感染症について記述されている。今後，年代や持ち主を裏付ける新たな資料が発見されれば本資料についての情報が確かなものになるだろう。



ページ下の中央に「12/5 北里博士講演 第四. 虎列刺(コレラ)菌」と記されている

こちらの資料はどなたでも現物の閲覧が可能(要事前申請)。

金沢大学資料館 出村 真妃

## 2050年まで、あと35年・・・



この3月末で31年間を過ごした金沢大学に別れを告げ、定年退職を迎えます。人生の半分の舞台は金沢大学で、資料館長も2期させていただいたのですから、この原稿を書いているのも感慨無量です。平成11年に在職していた教職員の方々はご記憶にあると思いますが、その年は金沢大学が創立50周年を迎え、さまざまな記念行事が計画されていました。その記念イベントを演出するにあたり、当時の岡田晃学長は48歳の私に、金沢大学の創設期から現代までの歴史をたどるだけでなく、50年後の未来像を可能な限りの夢をこめて描き出すとい

う企画を、なぜか全面的に任せました。

こうして私は平成9年から資料館長として記念展示の準備にあたりと同時に、「キャンパス2050検討グループ」の座長として50年後の金沢大学像を描く予言者を演じることになりました。この検討グループは各学部から選出された若手の教員と事務官がともに「金沢大学のあるべき姿」を議論しながら、日本や世界の将来性のある大学の動向を調査し、「夢」の輪郭をはっきりと提示するというものでした。ちなみに現在の資料館長である奥野正幸先生も、この検討グループのメンバーだったことを考えると不思議なご縁です。

さて、過去50年は写真や資料を発掘収集してモノを言わせるとして、50年後の未来像はアニメーションの力を借りて示すほか方法はありませんでした。「資料

館」の未来を覗いてみると、2050年には金沢大学跡地である金沢城公園内にユニヴァーシティ・ミュージアムが建ち、金沢大学百年の知の歴史が一望できるようになっています。夢のいくつかはすでに実現しているものもありますが、あと35年をかけて努力してほしい夢も少なくありません。15年前に私たちが思い描いた50年後の金沢大学は、「角間から世界へ、未来文化の創造を」というタイトルでVHSやCDに収録されています。ぜひ、ご覧ください。

平成27年3月吉日

金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授  
宮下 孝晴

## フレスコ壁画研究センター主催による展示 「イタリアの壁画遺産を守る一日伊共同プロジェクトの成果」を開催



フレスコ展チラシ

金沢大学フレスコ壁画研究センターでは、2月18日～3月23日、資料館展示室において、これまでの日伊共同研究プロジェクトの成果をはじめ、同センターと民間企業で開発している高精度の陶板壁画複製への挑戦や壁画デジタル・アーカイブなどをわかりやすく、そして楽しくご覧いただける展覧会を実施しました。

同センターは、フレスコ壁画研究における世界的レベルの文理融合型研究拠点として、2010年5月に金沢大学人間社会研究域に設置されました。



宮下センター長の解説を聴く  
見学者の皆さん

### 平成26年11月～平成27年3月 移管・寄贈資料

今期も貴重な資料の数々を移管・寄贈していただきました。当館にて大切に保管し、貴重な資料として活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

(平成26年度第4回資料館委員会(27.03.10 開催)承認)

#### 移管

- 絵葉書集(第一回記念祭 四高至誠寮 22.5.15)

4点(外袋1葉、葉書3枚)

創基150年史編集部会



絵葉書集

#### 寄贈

- 四高同窓会所蔵資料群  
(超然趣意書、時習寮看板、岡上梁書扇「超然」、  
永井豪が描いた四高生(色紙)等々)

約1,200点

四高同窓会



時習寮看板



岡上梁(四高第11代校長)書扇「超然」



## 開催案内

### 企画展

## 金大資料館コレクション展2015：資料館再発見。

【会期】平成27年4月8日～平成27年8月28日 【会場】金沢大学資料館展示室

今回の企画展では、資料館がこれまで収蔵してきた学術資料(モノ資料)をコレクションごとに展示します。展示は、①前身校の紹介とともに大学史を振り返る、②資料館収蔵コレクション、③ヴァーチャル・ミュージアムの展示、の三部構成となっています。また、ヴァーチャル・ミュージアムでは、iPadや大型ディスプレイによるネット上のミュージアムを体験できる展示となっています。



企画展ポスター

## 資料館業務日誌

(平成26年12月～平成27年3月分)

12.10～12.12	平成26年度女性情報アーキビスト養成研修(国立女性教育会館女性アーカイブセンター)参加
12.12～2.4	博物館実習受講学生による企画展「植物図(縮)」
12.12	シンガポールの大学生訪日団(JENESYS2.0)一行来館
12.15	「金沢大学資料館紀要(第10号)」エントリー締切
12.17	平成26年度第9回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
12.18	邊牟木尚美金属文化財保存修復家来館
1.15	「資料館だより(第46号)」発行
1.15	「金沢大学資料館紀要(第10号)」原稿提出締切
1.19～1.23	ミュージアム・ツアーの実施
1.19	平成26年度第2回紀要編集委員会(書面付議)
1.20～1.22	平成26年度アーカイブズ研修II(国立公文書館)参加
1.21	平成26年度第10回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
1.25	学長及び太田秀樹中央大学教授(元本学教授)とゼミ卒業生一行来館(臨時開館)
1.26	Dr. Jose M Cruz SJアテネオ・デ・マニラ大学副学長(フィリピン)来館
1.28	平成26年度第3回紀要編集委員会(書面付議)
1.29	田村洋貴文部科学省高等教育局国立大学法人支援課支援第三係主任来館
1.30	第3回国立六大学事務職員研修会参加者来館
2.3	古地図(新刻日本輿地路程全図＝赤水図)額装(納品)
2.6	四高同窓会蔵資料(約1,200点)寄贈申込書受理
2.7	大学コンソーシアム石川2014シテカレッジ後期科目「金沢の歴史と文化」受講生来館(臨時開館)
2.16	大熊玄石川県西田幾多郎記念哲学館学芸課長来館
2.16	第7回大学博物館等協議会・博物科学WG
2.18～3.23	フレスコ壁画研究センター主催による展示「イタリアの壁画遺産を守る一日伊共同プロジェクトの成果」
2.18	平成26年度第11回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
2.20	内藤直子大阪歴史博物館学芸員来館
2.27	大学博物館等協議会・博物科学会会長校他来館(2015年度金沢大学大会について打合せ)
3.1	シンポジウム「イタリアの壁画遺産を守る一日伊共同プロジェクトの成果」参加者来館(臨時開館)
3.10	第8回大学博物館等協議会・博物科学WG
3.10	平成26年度第4回資料館委員会
3.13	大学博物館等協議会2015年度大会・第10回博物科学in金沢大学(開催案内)送信
3.17	平成26年度第12回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
3.20	小谷文雄石川県立歴史博物館学芸主幹来館
3.24	小嶋茂穂東京学芸大学学長補佐、井ノ口哲也同大学教育学部准教授来館
3.27	長谷川孝徳北陸大学教授来館(具足の取扱い指導)
3.30	「金沢大学資料館紀要(第10号)」発行

## 平成27年度資料館スタッフ紹介

### 資料館長

奥野 正幸(理工研究域自然システム学系教授)

### 資料館副館長

有村 誠(新学術創成研究機構准教授)

### 資料館委員

奥野 正幸(資料館長)

古畑 徹(附属図書館長)

岩田 佳雄(情報企画会議委員)

多久和 陽(情報企画会議委員)

上地 進(情報企画会議委員)

有村 誠(資料館副館長)

森 雅秀(資料館研究員)

### 資料館研究員

森 雅秀(人間社会研究域人間科学系教授)

能川 泰治(人間社会研究域歴史言語文化学系教授)

古畑 徹(人間社会研究域歴史言語文化学系教授)

小林 信介(人間社会研究域経済経営学系准教授)

大村 雅章(人間社会研究域学校教育系教授)

鳥居 和代(人間社会研究域学校教育系准教授)

山田 敏弘(理工研究域自然システム学系准教授)

笠原 健司(情報部情報企画課)

### 資料館客員研究員

馬替 敏治(金沢大学名誉教授)

本康 宏史(金沢星稜大学)

宮下 和幸(金沢市立玉川図書館近世史料館)

谷本 宗生(大東文化大学・大東文化歴史資料館)

堀井 美里(合同会社 AMANE)

上田 啓未(合同会社 AMANE)

ジェレミー・フィリップス(翻訳家)

### 事務職員

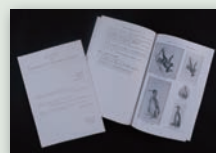
村田 勝俊(情報部情報企画課)

笠原 健司(情報部情報企画課)

出村 真妃(情報部情報企画課)

## お知らせ

資料館紀要(第10号)を発行しました。金沢大学資料館ホームページ及び金沢大学学術情報ポータルKURAで公開しましたので、ぜひ一度ご覧ください。



### 金沢大学学術情報ポータルKURA

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/41275>

「大学博物館等協議会2015年度大会・第10回博物科学in金沢大学」が下記のとおり開催されます。会員の皆様のご来場をお待ちしております。

日時：平成27年6月25日(木)～26日(金)

会場：金沢大学角間キャンパス(自然研棟)

## 編集後記

4月1日から資料館を担当することになりました。これまでは主に附属図書館の業務を担当していました。平成20年頃までは資料館と附属図書館が共同で特別展を開催する企画もあり、僅かですがこの企画をとおして資料館の業務に携わったことがあります。その後、資料館とは付かず離れずでしたが、縁あって現在に至っています。

本号でも紹介していますが、この間、資料館では入館者の増加が続き、大学の歴史に関わる多くの資料を受け入れています。入館者数のグラフには現れないことで、学外の方からの参考調査件数が多いことに気づきました。利用の方が求める現物資料を閲覧に供することに加え、ご本人に代わり担当職員が収蔵庫を調査することも多いことから、大学史に係る資料を残しておくこと、資料を学外に公開することの意義を実感しています。

近年、公文書の管理に関する法律が施行(平成23年4月1日)され、法施行後は大学法人の文書管理がより厳格に求められるようになりました。今年度は保存期間が満了となる本学の法人文書について、学内外からの継続的な利用に応え得る管理体制の構築が課題(YAMAZAKIプラン2014)の一つとなっています。残し、伝えることの大切さについて、皆様のご理解をいただきたくよろしくお願いします。

(村田勝俊)

## 金沢大学資料館だより

第47号 平成27年5月8日発行



[発行/編集] 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050

Mail [museum@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:museum@adm.kanazawa-u.ac.jp)

<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>